

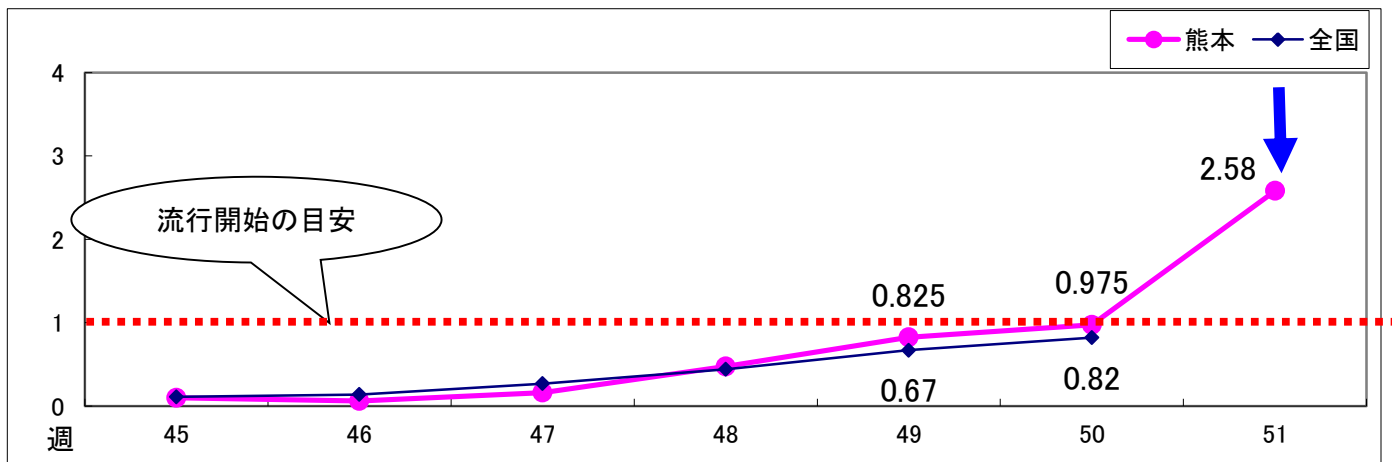
インフルエンザの流行期に入りました ～感染予防に努めましょう～

平成25年第51週(12月16日～12月22日)の熊本県感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたりの患者報告数(※)が2.58(定点数/80カ所、報告数/206人)となりました。流行開始の目安とされている1.00を上回ったことから、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。

正しい知識を身につけて、一人ひとりがしっかりとインフルエンザ対策を実行しましょう。(詳しくは裏面をご参照ください。)

※定点あたりの患者報告数…あらかじめ選定された県内80医療機関(定点医療機関)を1週間に受診した患者数を80で割った数

○定点あたりの患者報告数



○地域(保健所)別定点あたり患者報告数(平成25年第49～51週分)

	熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県	全国
第49週 (12/2～12/8)	1.12	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.25	0.17	1.14	0.83	0.67
第50週 (12/9～12/15)	1.68	2.00	0.63	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	1.00	0.33	1.86	0.98	0.82
第51週 (12/16～12/22)	3.64	0.33	5.75	0.67	1.00	0.43	1.00	0.20	3.13	3.00	1.57	2.58	

■ は報告数が1.00を超えているもの

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

熊本県ホームページ「インフルエンザ総合情報ホームページ」

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/influenzasub/>

連絡先 健康危機管理課
感染症・新型インフルエンザ対策班
直通 096-333-2240
内線 7085、7080
担当 友枝、椎場

(裏面あり)

インフルエンザの流行期に入りました！

一人ひとりが感染予防を心がけ、インフルエンザの流行拡大防止に努めましょう。
インフルエンザにかかった場合には人にうつさないようにすることも大切です。

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の流行状況としては、平成25年第50週（12月9日～12月15日）に定点あたりの患者報告数が「0.82」となりました。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA香港型が最も多くなっています。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 手洗いを習慣づける。
- ② 流行時には人混みを避ける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ② 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ **せきエチケット**を守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【これまでのインフルエンザの流行状況】

シーズン	流行入りした週	注意報レベルに達した週※ ¹	警報レベルに達した週※ ²
2013～2014	平成25年第51週	—	—
2012～2013	平成24年第52週	平成25年第3週	警報レベルに達しなかった
2011～2012	平成24年第1週	平成24年第3週	平成24年第4週
2010～2011	平成22年第52週	平成23年第2週	平成23年第3週

※ 1 注意報レベル・・・定点あたりの患者報告数 10

※ 2 警報レベル・・・定点あたりの患者報告数 30